

1 校訓 自主自律 文武両道

2 学校教育目標

思いやりのところをもち、新たな価値創造に挑む、自立した生徒の育成

3 めざす生徒像

- 人の意見をよく聴き、自分で考え、判断し、自己決定能力のある生徒
- 人それぞれの違いを認め、決して差別やいじめをしない生徒
- 基礎的な学力を確実に身につけ、将来の進路実現のために努力を続ける生徒
- 感謝の心を言葉や態度で表現し、仲間と協調しながら集団生活ができる生徒
- 体力の向上と健康生活の実践に励み、命の大切さを実感できる生徒

4 めざす学校像

- 毎日が楽しく、生徒が通いたいと思う学校
- 秩序や規律があり、落ち着いた学校
- 教職員一人一人が、組織の一員として、専門性を発揮できる働きやすい学校
- 美しく、清潔に整備された、安全で快適な学校
- 保護者や地域社会と共に、生徒を育てていく、開かれた学校

5 めざす教師像

- 教育のプロとして、常に研鑽に励み、授業で勝負できる教師
- 率先垂範を旨とし、常に自ら行動し、生徒のモデルとなる教師
- 組織の一員として、自らの強みを発揮しながら、同僚をサポートできる教師
- 法令を遵守し、教育公務員としての自覚を持ち、綱紀粛正に努める教師
- 生徒一人一人を大切にし、保護者・地域と積極的に関わる、信頼される教師

6 本年度の取組の重点

コロナ後の新しい局面を迎え、学校は活気を取り戻しつつあるが、単にコロナ前に戻すのではなく、「令和の時代における新しい日本型教育」の実践が求められている。またその中で「予測できない未来」への対応力を身に付けた生徒の育成に引き続き力を注がなければならない。

本年度、本校は2学期(前・後)制を導入し、ゆとりと計画性を持って”新たな価値創造”に果敢にチャレンジする年度としたい。そのために、以下の重点について積極的に取り組む。

- (1) 学習指導要領をふまえた、確かな学力・体力の向上とキャリア教育
- (2) 教育のICT化へ対応した、指導方法の工夫・改善と特別支援教育
- (3) 心の育ちの教育
- (4) 教師と生徒の信頼関係、生徒相互の好ましい人間関係づくりを基盤とした生徒指導
- (5) 保護者・地域・小学校との連携にもとづく信頼される開かれた学校づくり
- (6) 生徒が主体的に行動する力を育む健康・安全教育
- (7) 生徒が主体的に活動する生徒会活動と、健全な心身を育む部活動の充実